

## 《企業紹介》

同社はベトナムの証券会社である。個人や法人向けの証券仲介サービス、資産運用、投資銀行などの総合金融サービスを展開している。2025年10-12月期のホーチミン市場での証券ブローカー業務シェアは12.5%で2位となっており、ベトナムの大手証券会社の一角を占めている。また、法人顧客に欧米の大手商業銀行やベトナムの大手企業が多数あり、国内では高いブランド力を誇っている。なお、日本の大和証券グループが15%余の株式を保有する筆頭株主となっている。

## 《2026年1-3月期業績》

2026年1-3月期の営業収入は前年同期比47.2%増の3.1兆VND（ベトナムドン）となった。証券仲介業務関連収入が同74.8%増の1.6兆VNDとなって全体を牽引した。顧客基盤の拡大が進んでいること、株式市場の取引量が高水準で推移したことなどによって、委託手数料収入が同94.9%増の6,062億VND、貸付金等からの収入が同67.2%増の1.0兆VNDと大幅な増加になっている。資産関連収入は同24.8%増の1.4兆VNDだった。

営業費用は同43.6%増の8,979億VNDだった。資産関連収入に対応する費用は金融資産売却損の増加によって同50.0%増の4,740億VNDとなったが、証券仲介業務関連収入に対応する費用は同42.4%増の3,876億VNDと収入を下回る伸びにとどまっている。販売促進戦略の費用負担が一段落し始めている可能性がある。以上の結果、純営業収入は同48.6%増の2.2兆VNDとなった。

営業利益は同52.6%増の1.5兆VND、税前利益は同52.2%増1.5兆VND、純利益は同51.4%増の1.2兆VNDだった。いずれも純営業収入の増加ペースを上回る伸びとなった。顧客に対する貸付金の増加を主に借入金で賄ったために支払利息の増加によって金融費用が同46.3%増の6,369億VNDと増えたが、純営業収入の増加ペースを下回っている。また、一般管理費が同10.5%減の476億VNDに減少している。収益力が着実に向上していると評価ができるだろう。

図表1 四半期業績の推移(単位 十億VND)

|                   | 2025年1-3月期 |           | 2025年4-6月期 |           | 2025年7-9月期 |           | 2025年10-12月期 |           | 2026年1-3月期 |           |
|-------------------|------------|-----------|------------|-----------|------------|-----------|--------------|-----------|------------|-----------|
|                   |            | 前年同期比 (%) |            | 前年同期比 (%) |            | 前年同期比 (%) |              | 前年同期比 (%) |            | 前年同期比 (%) |
| 営業収入              | 2,159.3    | 9.5       | 2,909.1    | 29.6      | 4,081.2    | 106.7     | 3,601.8      | 62.1      | 3,178.1    | 47.2      |
| 資産関連収入            | 1,127.7    | 12.0      | 1,528.5    | 35.8      | 2,112.1    | 100.8     | 1,768.3      | 55.4      | 1,407.4    | 24.8      |
| 証券仲介業務関連収入        | 970.1      | 6.0       | 1,364.1    | 24.6      | 1,948.5    | 115.9     | 1,765.6      | 91.0      | 1,695.6    | 74.8      |
| その他               | 61.4       | 912.5     | 16.6       | -35.4     | 20.6       | 1.5       | 67.8         | -57.4     | 75.1       | 22.3      |
| 営業費用              | 625.3      | 8.2       | 1,092.8    | 32.4      | 1,576.5    | 155.0     | 1,750.2      | 45.2      | 897.9      | 43.6      |
| 資産関連収入に対応する費用     | 316.0      | 62.3      | 699.8      | 61.4      | 1,040.6    | 261.8     | 1,122.6      | 59.9      | 474.0      | 50.0      |
| 証券仲介業務関連収入に対応する費用 | 272.3      | -26.6     | 375.2      | -0.6      | 518.4      | 65.1      | 498.0        | 31.0      | 387.6      | 42.4      |
| その他               | 37.0       | 206.2     | 17.8       | 26.1      | 17.4       | 5.0       | 129.6        | 5.4       | 36.2       | -2.0      |
| 純営業収入             | 1,534.0    | 10.0      | 1,816.3    | 27.9      | 2,504.8    | 84.6      | 1,851.5      | 82.3      | 2,280.2    | 48.6      |
| 一般管理費             | 53.3       | -30.1     | 65.9       | 16.6      | 58.3       | 8.2       | 71.8         | -22.6     | 47.6       | -10.5     |
| 金融費用(マイナスは収入)     | 435.4      | 19.0      | 606.8      | 88.0      | 664.1      | 81.1      | 781.0        | 112.8     | 636.9      | 46.3      |
| 営業利益              | 1,045.4    | 16.2      | 1,143.7    | 9.9       | 1,782.4    | 90.4      | 998.7        | 79.6      | 1,595.7    | 52.6      |
| 税前利益              | 1,047.1    | 16.3      | 1,143.9    | 9.9       | 1,781.9    | 90.3      | 1,003.2      | 80.8      | 1,593.4    | 52.2      |
| 純利益               | 844.0      | 16.0      | 922.6      | 10.4      | 1,433.2    | 91.1      | 817.5        | 91.1      | 1,277.9    | 51.4      |

注1 営業収入の分類は会社データをもとに当社が独自に行っている。トレーディングは各種売買益及び評価益、サービスは委託手数料や証拠金取引の貸付金利息、引受手数料、コンサルト手数料が含まれる

注2 営業費用の分類は会社データをもとに当社が独自に行っている。トレーディングは各種売買損、評価損及び取引コスト、サービスは対応コストや証拠金取引の貸倒費用が含まれるが、支払利息は含まれない

出所 会社資料をもとに当社作成

### ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

有効期限作成日より180日

News20260501

主な事業 金融商品取引業

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。

### 《株価の推移》

同社の株価とVN指数を、2025年12月末の終値を100としてそれぞれを指数化したものが図表2である。同社の株価は概ねVN指数と連動していたが、4月中旬以降はVN指数の上昇についていけない状況が続いている。4月29日時点の2025年末比変動率はVN指数の4%上昇に対し、同社の株価は9%の下落となっている。また、4月24日終値27,650VNDで計算した時価総額は68.8兆VNDで、これは2025年12月期実績の純利益4.1兆VNDの17倍となっている。

2026年9月にFTSE ラッセルによる市場格上げが実際のオペレーションに入る。流動性の改善によって海外投資家のベトナム株式市場に対する関心は高まるだろう。同社はベトナムにおいて大手総合証券としての長い歴史と実績があり、多くの上場企業や機関投資家との繋がりががあるとみられる。ベトナム株式市場の高度化によって市場の直接金融機能が強化されれば、投資銀行業務が成長ドライバーになることが期待できる点には留意する必要があるだろう。

図表2 株価推移



ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会  
 主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より180日

News20260501

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。